

会議録

会議の名称	令和7年度第4回新城市市民自治会議
開催日時	令和7年11月18日（火）午後6時30分から
開催場所	新城市役所4階会議室
会議の次第	<ol style="list-style-type: none">1 あいさつ2 議題<ol style="list-style-type: none">(1) 新城市市長選挙立候補予定者公開政策討論会の振り返り(2) 地域自治区制度について3 その他<ol style="list-style-type: none">(1) 他の事業の実施状況(2) 次回の日程
出席委員	斎藤徹史会長、前澤このみ副会長、赤川哲久委員、滝川多嘉子委員、楠芳高委員、澤田みどり委員、菅沼大輝委員、丸山幸治委員、清水良文委員、生田智美委員、中谷昌美委員
欠席委員	奥村架那子委員

1 あいさつ

会長からあいさつがされた。

2 議題

(1) 新城市市長選挙立候補予定者公開政策討論会の振り返り

《事務局説明事項》

- ・ 公開政策討論会が無事に終了したため、今回の結果や課題の整理を行いたい。
- ・ 視聴後のアンケートの回答は合計で74件あり、その多くが会場の来場者で、画面からのアンケートの難しさを実感した。
- ・ 公開政策討論会全体の内容の評価は高く、討論時間についてはおおむね適切という評価であった。
- ・ 自由記述では、討論内容の軌道修正をかける必要があるのではないかということでコーディネーターに関する意見がいくつか出ていた。現行制度においては、主宰者に立候補予定者の承認が必要となっており、参加の申出は1週間前まで可能であることから、外部への依頼は承認が得られる確実性がない中でということになってしまい、内部の実行委員会委員でコーディネーターをすることは委員への大きな負担となり、どちらも選択が難しいことから、当事者同士に委ねる現行の方法はやむを得ないと考えられる。
- ・ 会場の来場者数は、平日の夜が166人、増加を見込んでいた祝日の日中は予想外に数が減り163人という結果になった。
- ・ Y o u T u b e の視聴回数としては、選挙後の10月27日時点で第1回が2,100回、第2回が1,250回程度であった。4年前の討論会の視聴回数が、選挙後の数字として第1回が1,700回、第2回が900回、第3回が700回であったことから、各回300回から400回程度増加している。
- ・ ホームページ、ティーズの市政番組、市公式L I N E、ポスター、新聞の折込みチラシ、防災行政無線と、市が主に利用している宣伝媒体を全て活用したが、160人に留まった。キッチンカーも呼んで若い世代、子育て世代が来やすく、堅苦しくならないようにとしたが、来場者数は想定よりもかなり少ない印象であった。また、感覚的には、第1回も第2回も同じ来場者が多かった。第2回開催後の視聴後アンケートの結果を見ると第1回も第2回も会場で見たとするものが多く、アンケート結果からも同じ来場者が多かつたことが分かる。
- ・ ティーズ・Y o u T u b e での視聴が可能な以上、会場での観覧をあえて選択した人が主な来場者であると思われる。4年前の実行委員会でも話が出たが、見たい人は自分のスケジュールを調整して見に来る、という意見を実

感した。

- ・ 次に開催後の実行委員会での意見である。

出た意見を関連する内容でまとめると、(1)会場に関する意見、(2)当日の内容に関する意見、(3)制度自体に対する意見、(4)1人開催の是非、(5)辞職等の場合の開催の是非に関する意見である。主な意見としては、会場については少なくとも縮小で良いというもの、当日の内容についてはもう一工夫あっても良いというもの、制度については運営の不安定さとコーディネーターの課題、1人開催の是非については開催の意義と実際に開催する場合の懸念事項、辞職等の場合の開催の是非については準備期間の短さについてであった。

- ・ 課題としては以上のとおりであるが、実行委員会としては、可能な範囲のことは行い、大きな支障がなく開催ができたことから、合格点ということですとまとった。1年前からの検討、準備、当日も運営側として役割を担っていただいた。
- ・ 4年前は無観客だったため、有観客での開催としては今回が初めてであったが、次回を検討するための数字・資料となる結果が残った。課題についても、運営側からの整理が終了した。

《質疑応答・意見交換》

会長	ありがとうございました。 御意見等ありますか。
委員	13日は祝日ですが行けませんでした。休日ではありますが、祝日は仕事等がある方もおり選択として良かったのかは検討が必要だと思います。 実行委員会の意見の中でもありますが、今回は、前回よりも10%程度投票率が落ちており、関心度が低かったかを分析する必要はあると思います。
会長	運営側だった事務局からはどうですか。
事務局	討論会の開催時期は、どの土日も大きなお祭りと重なってしまい、13日の祝日は重ならない唯一の日で、そういう意味では来やすい日となっていました。会場の空き状況もありますので、お祭りなど色々な事項を勘案して日の選定をしています。
委員	10月は、お祭りが続きますので選びようがないことは課題だと思います。感覚ではない分析をしていただきたいです。
事務局	正直なところ、日程は選べない状況です。 立候補予定者が出来やすいように、開催日はできるだけ遅くする必

	<p>要があります。実際、カークランドさんの出馬表明は、討論会の最初の参加申出期限の直前でした。選挙の告示日にできるだけ近い日程にする必要があります。</p> <p>お祭りや会場の空き状況等もあり、限られた環境・限られた期間の中で選択をすることになります。</p>
委員	<p>4年後も同じように第2週の祝日になる可能性が高くなりますね。良いか悪いかは分かりませんが。</p> <p>その中でどうするかということですが、その中で3回開催の選択肢も含めて議論をしていただくと良いと思います。</p>
事務局	<p>4年前と同様に今回もまずは開催回数をどうするかから始まりました。実行委員会の中では1回開催の意見が多くあり、それでは会場に来たくても来られない場合もあるということで、平日の夜と土日祝日の日中の2回開催を選択することになりました。どちらかでの来場の機会は作れたかと思います。</p> <p>ですので、今回の結果として出た数字は、有意性がないものではないと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>実行委員会の意見の中にあるように、4年後にはティーズやY o u T u b eでの視聴が当たり前になっているかもしれません。今の御意見は記録として残していただきたいと思います。</p> <p>ほかにいかがでしょうか。</p>
委員	<p>コーディネーターの意見が自由記述に出ていますが、コーディネーターが入って討論をする方が一般的ではないでしょうか。その形ができるように持つていけるのであれば、そうした方が良いと思います。立候補予定者同士だけでは、市民が知りたい話にならない、話が一方通行というようなこともあります。制度上難しいということであれば、それができるように改正していくことが重要だと思いました。</p> <p>日程については、お祭りに関わっていると当日だけがお祭りではありませんので、行きたかったのですが行けませんでした。これは新城市の9月・10月では仕方がないことだと思います。</p> <p>開催回数としては、視聴回数が第1回目、第2回目、第3回目と下がっていきますので1回でも良いかなと思います。</p>
会長	立候補予定者からの評価は何かありましたか。
事務局	討論会の終了後は、すぐに立候補予定者のお二人は解散となりましたので直接話はしていませんが、準備が大変、時間が掛かるとい

	<p>う感想がポロっと出たことはあります。</p> <p>討論会は、各立候補予定者が自分の意図を伝える良い機会ではあります。そこに至るまでに参加申出時の自分の政策をまとめた書類を作り、政策シートを1回ごとに作り、実行委員会に参加する推薦委員と次の会議に向けた調整をする等の過程が入ります。特に、政策シートと参加申出時の政策欄は公開され、政策シートは資料として当日配布をされました。</p> <p>これらの過程に多くの時間を割いたように思います。その中でポロっと声に出していました。少し課題に思っています。</p>
会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>難しいですね。効率化は大切ですから、次の検討課題かと思います。ほかにはいかがでしょうか。</p>
委員	<p>会場で見ましたが、実行委員会の方でタイムキーパーを交代しながら段取り良く、工夫しながら運営をしており、すごく良かったと思いました。</p> <p>大ホールでなく小さくても良いと思いましたが、今年は小ホールが使えなかったことから仕方がなかったです。</p> <p>選挙の時期が秋になることは仕方がないので、工夫をしながら進めていくしかないと思います。</p>
委員	<p>実行委員は短期間で初めてのことを進めていくため、本当に大変です。経験した人が残り、次に繋いでいかないとできませんので、そういう流れができていけば良いと思います。</p>
委員	<p>私はY o u T u b eで見ました。会場の良さもありますが、実行委員も大変だと思いますので、1回に絞って、会場に来られない人はほかの方法で補ってY o u T u b eで良いのではと思います。全ての人の日程に合わせることは難しいです。</p> <p>担っているのは実行委員会ですので、実行委員会がやりやすいように変えていかないと続いていきません。改善しながら実施していくべきだと思います。</p> <p>まとめの(4)と(5)についても、実行委員会が難しいと思うのであれば、続けていくためには変えていく必要があると思います。(4)については違う形の実施でも良いでしょうし、辞職等の場合は不測の事態ですので特例としてなしにしてしまえば良いのではないでしょうか。</p>
委員	<p>会場での感想ですが、残り時間のパネルを上げていましたが、後ろから見ているとあれは少し邪魔に思いました。発言者用だと思い</p>

	ますが、それであればモニターを舞台の上に置けば良いですし、来場者用であれば小さすぎますので、改善してほしいと思います。
会長	今日は、傍聴に実行委員会の方が来ておられますので、せっかくですので感想などをいただきたいのですがよろしいですか。
傍聴者	<p>はい。</p> <p>先程投票率の話がでましたが、実行委員会でその話をしたのは私ですが、投票に行けない人が増えたのだろうなと思います。</p> <p>1年前から準備をしてきましたが、核となるものの決定は開催の1ヶ月前からの短期で行いました。そこまでの期間がもったいないということで、ほのかなどで多くの広報を事務局に実施してもらいました。それだけやりましたが、投票率が低かったことから残念に思いました。</p> <p>事務局職員は一生懸命取り組んでいましたが、これは個人的な意見ですが、この制度では行政の負担が大きすぎます。公正公平、「しなければならない」の制約がいくつもあり、見ていてかわいそうに思いました。御苦労様でした。制度を検討しなければいけないと思いました。</p> <p>若い実行委員の方がいましたが、私のその当時に市政に关心はありませんでしたので、良いなと実感しました。</p>
会長	<p>非常に大変な役目をしていただいたかと思います。</p> <p>ほかにはいかがでしょうか。</p>
会長	以前に感謝状の話がありましたが、それをお願いできればと思います。

(1) 地域自治区制度について

《事務局説明事項》

- ・ 検討する内容が現状定まっていない。今年度のこれまでの内容は、第1回で地域自治区制度を検討することが決定し、第2回と第3回で地域自治区制度についての様々な意見が出たという段階である。
- ・ 委員それぞれから自分の自治区の多種多様な現状と課題が出ており、自治区ごとに考え方、発展の仕方が全く違うことが見えている。
- ・ 第3回では大きく分けて(1)委員構成の検討、(2)実行組織との関係、(3)ボランティアでの活動の限界、(4)予算の制度設計の4つの意見が挙がっていた。

《質疑応答・意見交換》

会長	ありがとうございました。
----	--------------

	<p>第3回までに検討事項としては主に4つ挙げられたということですが、この先をどうするかは大きな問題です。今年度は、諮問と答申ではなく意見をする形となっていて、残りの期間で4つを取り扱うことは難しい状況です。1つの考え方としては、今年度は論点整理のみとして来年度以降にすることや絞って結論を出すことなどが考えられます。</p> <p>現状、まとめようがない悩ましい状況です。</p>
委員	<p>各自治区で発展してきていますが、市民自治会議からはこういう意見ですと投げかけていくことは大切だと思います。そして、それを自分たちで考えてもらう、これが結論となって良いのか分かりませんが。</p> <p>ポイントだけを提起するくらいかなと思います。</p>
委員	<p>予算の話については、現在、改正を進めているということですでの、今ではなくその先でまた考えるべきかと思います。その他については、課題になっている自治区と課題になっていない自治区があると思いますので、他の自治体の実例も含めて実行組織との連携の情報などを流すくらいで良いのではないかでしょうか。焦って結論を出すよりも良いと思います。</p>
会長	<p>今の提案は、これまでの自治区の取組を尊重して情報提供をして各自治区に知つてもらう、きっかけを作るようなものですね。</p> <p>ほかにはいかがでしょうか。</p>
委員	<p>似た意見ですが、市民自治会議からこうしてほしいということではなくて、原点に返って内部で見直しを検討してもらう方が良いと思います。</p> <p>地域協議会の会議を傍聴にいきましたが、実行する側との連携がとれていない中での意見が多くありました。一度整理をしていただいた方が良いと思いますが、そのきっかけとして市民自治会議からの提言をするのが良いのではないかでしょうか。</p>
会長	<p>ここまで意見を踏まえると、(1)から(3)の中で特に重要なものは(2)の実行組織との連携の話で、(2)に絞って、地域自治区制度が始まった当初の設計を考えながら、各自治区が独自に発展する中で当初の構想からのずれが生じていて、その現状に情報を提供することで考えるきっかけをしてもらうことが一つの結論だと思います。</p>
委員	<p>話が変わってしまうかもしれません、10年が経過して改善するべきことがあるのであれば見直していく必要があると思います。</p> <p>実行組織との関係のところで、他県の話として聞いたものですが、</p>

	地域自治区制度を始めたけれど、実行のところかと思いますが、それが地域自治区制度では難しいため、改善して独自の制度として始めたという話を聞いたことがあります。そこまでしないにしても、当初の構想と現在を比べていくと先が見えてくると思いました。
委員	<p>10年前に始めたころは、地域の希望を建議するだけの形で始まりました。物理的なものから始まって、一時期はこども園と小学校だけをターゲットにしたものとなりました。その後、計画を立てる自治区があつたためそれを真似してみようということで、10年後を考えながら計画を作成し、今はそのために進んでいます。</p> <p>結局は協議の場ですので、実行組織のことはどこかがやってくれるだろうということでした。</p> <p>ある程度は、実行組織を想定して考えていますが、やってくれないかもしれないということはあります。</p> <p>市の予算ですから限界があります。飲食には使えませんので、本当にボランティアになります。給料になるわけでもありませんし。そういう方たちの力があつてこそできる制度だなということを感じています。</p> <p>現在、市がそれを変えようと、実行組織を作ろうと進めていますので、それに乗っかっていこうとしていますが、その団体を作つていくことが夢物語のような感じで、それができるのが何年後かわかりませんが、先行している千郷地区がありますのでどうでしょうか。</p>
委員	<p>まちづくり会議が発足しましたが、お金がありません。寄付金という話もでましたが。実は今の進捗状況についてはあまり把握していないなくて。</p> <p>地域自治区予算をこちらに回せるのか、拠点をどうするのかというような課題があります。</p>
会長	<p>ほかにいかがでしょうか。</p> <p>まとめるのは難しいですね。</p>
委員	<p>前の市長のときから、稼ぐ自治をやりましょうと言われていましたが、市の予算ですので性質的に合わなくて、壁がありました。</p> <p>ただ、稼いでいかないと続いていきません。稼いでいけるようになれば、新城の中でお金が回っていくような仕組が入っていくと実行部隊のやる気が起きると思います。</p> <p>歴史のガイドをしていますが、当初はなかつた報酬が出るようになりました。四国からのお客さんも見えていましたが、またあなたのガイドで回りたいと言われました。これは地域自治区制度とは関</p>

	<p>係がない話ですが、モチベーションは大切だという話です。褒められることはうれしいことですが、また別のモチベーションとして、大きい額の必要はないですので少しでも金銭的な要素があるとやるのではないかと思います。若い子たちは、やる気はあるけど何もないからやらないということが結構あります。逆に何かがあればやる子もいますので。</p> <p>稼ぐ自治の壁が乗り越えられれば良くなっていくと思います。</p>
委員	賛成です。
事務局	<p>そのとおりですが、中々難しいのが現実ですね。</p> <p>東郷地区では、ブランド米として決戦の刻ができましたが、これは市の補助金を使って始まったものです。こういうきっかけで稼げるようになれば良いのですが、市からの事業でそこにつながっていくようなものはなかなかないので、アイデアは地域や活動する人に対していただいて、その手助けとして市の補助金や交付金がある形が望ましいです。</p> <p>予算としては地域自治区予算と地域活動交付金がありますが、実行組織ができないと交付金ではなくて地域自治区予算の方しか活用されなくなります。まずは予算配分を交付金の方にのみ振ることができるようにして、活動する人に手厚く出すことができるようすることから始めています。</p>
委員	そもそもですが、実行組織は何を基準に誰を指すのでしょうか。ピンと来ていない委員もいると思います。
委員	<p>お話を聞いていると、既に活動している特定の目的を持った団体があつて、この団体を組み合わせる話をしているのか、行政の話からは新しく活動団体を作っていくようなものに聞こえてきます。</p> <p>作るのはすごく難しいので、既存の団体のリストアップ・整理をした上で話をすると前へ進むのではないかと思いますがどうでしょうか。</p>
事務局	<p>千郷地区で現在進めているものがまさにそれで、既存の団体を集めたものとしていますが、そういった取組に対する温度差は地域自治区ごとにあります。</p> <p>実行団体としては、既存のものもありますし、新規でも良いです。各地域で考えていただきたいと思います。</p>
会長	千郷のものは、法人格はありますか。
委員	ないです。
会長	ほかの地区では同様の団体はないということですね。

委員	実行部隊ならたくさんあります。私がそうです。
会長	連携がとれていない状態ですか。
委員	地域協議会の地域計画と結びついていません。
委員	できるかどうかの話を実行部隊の方に振っていません。地域協議会の方は、どんな実行部隊があるかを知らないのではないかと思います。
会長	活かしきれていないということですね。
委員	そうだと思います。作手では、地域協議会ではない人で地域計画を作りました。地域協議会の中では、地域協議会はいらないのでは、実行部隊が地域協議会の方が、というような話が出ました。もしかすると地域協議会と地域計画を作った人とでの連携もとれていなかったかもしれません。そして、実行部隊にも話がきていないと思います。 実行部隊の私の方に話は降りてきていません。なぜ降ろしてくれないのかもどかしいです。
委員	地域協議会では、地域自治区予算をどうするかということと交付金の審査がメインとなっていてつながっていない状況です。地域計画に基づいてとはなっていますが。
会長	予算は使わないといけないですよね。
委員	使わなくても良いです。枠として確保されているだけで。 ソフト面が交付金でハード面が地域自治区予算という感じになっています。ソフト面を受けられる実行団体に降ろすことができれば良いのですが。市の自治区の担当者が調整をしているのが現状です。 ソフト面で先程出たブランド米事業については、稼いで自立がでています。元々は耕作放棄地を増やさないようにと始まりました。協議会から始まった、協議会で造られた実行部隊です。 ケッターパークについては、まだ自立まではできていない状況で、予算を付けています。いずれは自立していこうと言っていますが。お金と人の関係でそこまではいけていません。
会長	よく分かってきました。
委員	どの部署が受けていますか。
委員	他の課ではなく自治振興事務所で受けています。 同じように、マスコットの着ぐるみを造りましたが、受ける課がなかったため自治振興事務所の担当職員が実施しました。そうするとその担当者1人に負担が掛かるので、それはまずいということで実行できる組織に向けて動いている状態です。

委員	自治振興事務所に予算が付くということですか。
事務局	そうです。ですが、できればそういったものは地域活動交付金にしていきたいです。
委員	本当はそうですよね。 喫緊の課題があって、亀山城址の草刈りもメンバーの平均年齢が高くなってしまって次を育てることに悩まれています。川尻城址もそうですが、管理をしないと山になってしまいます。話を降ろしてきてもらえば私が動くのにともどかしいです。
事務局	今は、交付金の申請を団体にしてもらわないと、というところでですね。改善をしていきたいと思っています。
委員	継続して申請をしている事業もありますが、地域活動交付金は単年度での審査です。継続的に交付される担保はありません。つなげていく仕組、そのための組織は必要だと思います。
会長	その場合は、委託契約としますか。
委員	委託と交付金の両方の選択肢があると思います。
委員	地域自治区予算と活動交付金の話が混在していて分かりにくいで す。提言するのであれば、地域自治区予算に対する方が良いと思 います。
委員	地域自治区予算を決める地域協議会のメンバーの任期が2年で す。よく分からぬまま賛成してしまう人が多い感じがします。メ ンバーが順番制になってからそうなっています。
委員	計画は地域協議会が立てますが動くのは実行団体で、それは自発 的に自分たちの理想を持った団体ですので、そこにお願いするこ とが無理かなと思います。ですので、地域協議会と実行団体が連携し ていかないと意味がないと思います。
会長	時間になりましたので、ここで終了しようと思います。

3 その他

(1) 他の事業の実施状況

ア JUMP UP ミライフェス

開催日 12月14日

イ 女性議会

開催日 1月22日

人数 4名登壇

ウ 市民まちづくり集会

開催日 2月21日

テーマ 公共施設

エ わきやっぴ祭
開催日 11月8日
オ 若者議会市長答申
開催日 11月5日
提案事業数 4事業
カ つながる地域と若者の輪
5つの中学校で開催

(2) 次回の日程

1月の開催
閉会 (20:25)